

# 令和2年度 島根県学力調査結果の概況について〈江津市〉

## 1. 小学校

### 【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・小5, 6国語・算数は島根県調査のため県平均値と比較
- ・小3, 4国語・算数, 小5, 6社会・理科は江津市独自実施(東京書籍標準学力調査)のため目標値と比較
- \*目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

	小3		小4		小5				小6			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	社会	理科	国語	算数	社会	理科
江津市	58.1	64.0	62.9	61.5	60.3	55.5	59.1	65.3	63.6	67.0	72.0	68.5
島根県					60.6	57.6			62.7	62.9		

国語	【小3, 4, 6】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが「文を書く」に課題がある。 【小5】県平均値とほぼ同程度であるが「文章を書く」と「物語の内容を読み取る」に課題がある。
算数	【小3, 4, 6】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。 【小5】県平均値とほぼ同程度であるが「数と計算」(「体積」「少数のかけ算・わり算」)に課題が見られる。
社会	【小5】目標値を下回り「国土の自然などの様子」の領域に課題がある。 【小6】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが、領域「政治」に課題がある。
理科	【小5】目標値を下回り「生命・地球」(「植物の発芽と成長」「流れる水のはたらき」)に課題がある。 【小6】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが「植物のつくりとはたらき」に課題がある。

### 【意識調査結果】

強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が好きである」と回答した児童の割合が県を上回る。(5, 6年)</li> <li>・「自分が住んでいる地域が好きである」と回答した児童の割合が県を上回る。(3, 5, 6年)</li> <li>・「家の人から言われなくても進んで勉強している」児童の割合が高い。(3~6年)</li> <li>・算数の学習への関心・意欲が高い。(5, 6年)</li> </ul>
弱み	・1日あたり1時間以上携帯電話やスマートフォンを使っている児童の割合が県を上回り、学校に行く日に学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強する児童の割合が県を下回る。(小5)

## 2. 中学校

### 【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・中1, 2国語・数学・英語は島根県調査のため県平均値と比較
- ・中1, 2社会・理科は江津市独自実施(東京書籍標準学力調査)のため目標値と比較
- \*目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

	中1					中2				
	国語	数学	英語	社会	理科	国語	数学	英語	社会	理科
江津市	72.1	57.3	64.0	59.8	58.3	65.2	48.1	51.1	52.9	50.4
島根県	70.9	57.4	62.4			68.0	56.2	54.4		

国語	【中1】県平均値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。 【中2】県平均値をやや下回り「文法・語句に関する知識」に課題がある。
数学	【中1】県平均値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。 【中2】県平均値を下回り「式の計算」と「1次関数」に課題がある。

社会	【中1】目標値を上回り、大変良好な状況である。 【中2】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが「世界と比べた日本の地域的特色」に課題がある。
理科	【中1】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが、「力の性質」に課題がある。 【中2】目標値を下回り、「粒子」の領域、観点「観察・実験の技能」に課題がある。
英語	【中1】県平均値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。 【中2】県平均値をやや下回り「場面に応じて英作文を書くこと」に課題がある。

### 【意識調査結果】

強み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校図書館を使った授業は、ほかの授業を行うときにも役立っている」と回答した生徒の割合が県を上回る。</li> <li>・「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたりやってきた宿題にコメントをしてくれたりしてくれる」と回答した生徒の割合が県を上回る。</li> </ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学に対する関心・意欲が低い。</li> <li>・「授業で興味・関心をもった内容について、自主的に調べ学習を行っている」生徒の割合が県を下回る。</li> <li>・1日あたり2時間以上携帯電話やスマートフォンを使っている生徒の割合が県平均を上回る。</li> <li>・学校に行く日に、学校の授業時間以外に1日1時間以上勉強する生徒の割合が県を大きく下回る。</li> </ul>

## 3. 今後の対応

### ◇成果・課題の把握と個別指導の充実

各校において学力の成果（強み）や課題（弱み）について把握し、結果に基づいた補充学習や発展学習等の個別指導を充実させる。組織的な対策を立てて児童生徒への学習内容の定着を図る。また、次年度の担任及び教科担当者へ対策を引き継ぎ、継続する。

### ◇授業の質の向上

- ・自分の考えを根拠をもって説明したり、友だちと比較・検討したりする場面を取り入れる等、指導法の改善を図る。
- ・「江津市学力育成サイクルプラン」に基づいて、「各教科調査結果」「生活・学習に関する意識調査」をもとに今年度各校で取組んできた「授業改善アクションプラン」の検証を行うことで、今後の指導方法等に対する組織的改善を図る。

### ◇家庭学習の充実

家庭と連携し、授業と関連する課題や子どもたちの自主的な計画に基づく課題等も入れながら、学習の質の向上、習慣化を図る。また、江津市教育委員会、江津市小学校、江津市中学校、江津市PTA連合が連携し子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するための方策を検討し、メディアの活用に関する家庭内啓発に取り組む。

### ◇学校訪問の実施

指導主事による県学力調査結果をふまえた指導改善に関わる学校訪問を市内全校において実施し、組織的指導改善や個別指導の充実に向けて働きかける。